

首里杜まちづくり推進協議会 令和5年度 第1回協議会 議事要旨

日時：2023年8月31日（木）16:00～18:00

場所：首里公民館 ホール

■開会あいさつ(沖縄県 土木建築部 参事 仲本)

ご多忙の中、お集まりいただき感謝申し上げます。

県では、首里城復興基本計画に基づき、関係機関の皆様と議論しながら、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策をとりまとめた「首里杜地区整備基本計画」を令和4年4月に策定している。

「首里杜地区整備基本計画」は、30以上の関連事業を位置づけ、計画期間（R4～R13）における取り組みロードマップとして整理している。

この計画を確実に推進し実現していくため、昨年9月に、地域団体、事業者、学術機関、行政機関などで構成する本協議会が設立され、今年度が2年目の活動期間となっている。

歴史まちづくりは、10～20年で完成するものではないが、令和8年の正殿の完成までに取り組むべき課題もあり、皆様と連携し、着実に推進していきたい。引き続き宜しく願い申し上げます。

■開会あいさつ(地域 首里まちづくり研究会 理事長 伊良波)

我々は首里でまちづくり活動をしてきたが、首里城公園の平成復元の際には、地域が関わることなく様々な整備が進められ、首里が今後どうなるか心配であった。

現在では、協議会が設立され、多くの事業について詳細な説明がされており、地域が安心してまちづくりに参加できる環境が作られていると感じている。改めて、本協議会に係る多くの方々へ感謝申し上げたい。

今年度は特に大きな課題についての活動に取り組んでいくが、課題解決においては、50年後の首里をどうするのかという視点を持って議論していただきたい。先日の首相来園の際に、オーバーツーリズムについての発言があったように、首里にとってオーバーツーリズムは大きな課題である。他にも、正殿復興までに取り組まねばならない課題も多く、解決に向けて地域と行政で協力して取り組んでいきたいと考えている。引き続きご支援宜しく願い申し上げます。

議事 1. 令和5年度の協議会の活動について

資料1：令和5年度の協議会の活動計画について説明（事務局）

- 全会一致で合意を得た（全体）

議事 2. ロードマップ事業の令和5年度の取り組み内容について

資料2：ロードマップ事業の令和5年の取り組み内容について説明（事務局）

- 全会一致で合意を得た（全体）

議事 2-①. 首里城公園駐車場予約システムについて/龍潭周辺整備について

資料2別添①：首里城公園駐車場予約システム/龍潭周辺整備について説明（県首里城復興課）

- 中城御殿跡地駐車場の利用実績はあるか。(地域)
 - 現状、中城御殿跡地駐車場の利用実績はない。10～11 月頃の修学旅行ピークに向けて、利用される可能性も高まると考える。(県首里城復興課)
- 中城御殿跡地駐車場について、周辺住民への騒音被害等が想定される。エンジン停止の呼びかけを行ってほしい。(地域)
 - 配置予定の警備員と調整し、エンジン停止の呼びかけを依頼する。地域住民への被害については可能な限り配慮していきたい。(県首里城復興課)
- 中城御殿跡地駐車場の利用時間は学生の登校時間と重複しないか。(地域)
 - 駐車場利用ピークの 9～11 時は、学生の登校時間の 8 時頃には大きく被らない。(県首里城復興課)
- 予約システムは根本的な渋滞対策にはなり得ないと考えている。他に考えている渋滞対策はあるか。(地域)
 - 新たな対策を講じる場合、数字やデータ等で根拠を示しながらステップを登っていく必要があると考える。可能な限り渋滞対策を行っていくが、対策後も渋滞が発生するようであれば、新たな対策を講じていきたい。(県首里城復興課)
 - 渋滞発生を確認してからの対策では遅い。並行して他の対策も進めるべきである。(地域、学識)
- 予約システム導入と併せ、法的な路上乗降の制限や、明確な禁止ルールの設定などが必要と考える。また、大型バスと同様に乗用車への情報提供等も行うべきである。(学識)
 - 乗用車の対策として、周辺駐車場の満空情報について発信し、利用駐車場の分散化に向けて取り組んでいる。また、予約システム導入にあたって、各事業者との意見交換を実施し、ピークシフトの意識醸成と併せて、周辺道路での乗降に対しての注意も行っている。(県首里城復興課、事務局)
- こんなにも近くに駐車できる世界遺産は他にない。遠方で降車し、周遊しながら気持ちを高めていくような観光施策と結び付けた検討が必要。車で来園する前提の議論ばかりではなく、首里全体の新しい観光コンテンツの在り方も含めた検討が必要である。(地域)
- 小学生の登校時間に併せた大型バスのデータが必要である。7 時半頃から周辺をうろついている大型バスがないか把握したい。(地域)
 - 把握方法について、公園管理者とともに調整したい。(県首里城復興課)
- 小学生の下校時間との重複が懸念されるため、14 時以降は首里杜館駐車場への集中を避けてほしい。中城御殿跡地駐車場については、利用の際に通学路を横切り危険なので 14～15 時は閉場してほしい。(地域)

議事 2-②. 第 32 軍司令部壕保存・公開について

資料 2 別添①：第 32 軍壕司令部壕保存・公開について説明（県女性力・平和推進課）

- 地域住民への説明はどのように想定しているか。(学識)
 - 広く地域住民に説明したい。本協議会を含め、既存の集会等も活用していきたい。(県女性力・平和推進課)
- 公開はいつ頃か。(地域)
 - 保存公開検討委員会の提言では、令和 7 年度までに第 5 坑口、令和 8 年度までに第 1 坑口の公開を予定しているが、具体的には今年度の有識者会議等で検討を進める。(県女性力・平和推進課)
- 第 1 坑口の状況はどうか。(地域)

- ▶ 昨年度調査にて床面と思われる箇所が確認された。今年度も調査を実施予定であり、床面の延長線上に第1坑口があるだろうと考えている。(県女性力・平和推進課)
- 資料館で32軍壕について学んだ後に、実際に第1・5坑口を見学するような仕組みが望ましい。また、本件と併せて、首里全体のまちづくりを発信する「首里資料館」の整備も議論してほしい。(地域)
 - ▶ 頂いた意見を踏まえ場所や展示内容について検討を進める。(県女性力・平和推進課)
- 城西小学校の敷地内にある32軍司令部壕の縦穴についてはどのように考えているか。(地域)
 - ▶ 当該遺構等については安全性を確保しつつ、提言にもあるとおり第5・1坑口を優先に公開に向けて進める方針である。(県女性力・平和推進課)

議事 2-2. 沖縄総合事務局の取り組み紹介(沖縄総合事務局 沖縄総合観光施策推進室長 星)

先日の総理来園の際は、警備や交通整備の関係で皆様に不安をおかけしたと思うが、ご協力感謝申し上げます。総理とは、インバウンド増加によって懸念される様々な弊害を、いかに克服しながら、心豊かな地域をつくり、併せて経済と社会が豊かになるようなまちづくりのために、どのような議論を進めていくべきかをテーマに討議してきた。

私は首里城復元に向けた技術検討委員会に参加していたことがあるが、協議会に参加し、改めて地域がどのような考えを持っているのかを理解した。また、首里、那覇は沖縄の象徴であり、観光客・観光バスに起因した、交通安全、生活安全の問題があることについてはよく理解できる。

観光庁では「地方における高付加価値インバウンド観光地づくり検討委員会」を担当しており、それと絡めた具体の対策や仕組みづくりなどについて政府も一つになって支援していきたい。

公共として、頂いた税金を効果的に活用しながら尽くしていく立場ではあるが、やれることには限界がある。その中で、公共が地域、民間の方々と同じビジョンを目指し、それぞれの潜在力を発揮させていくことが必要だと感じている。今後もそのような視点を持ちながら、首里の文化や地域を共に豊かにしてくれる方々と深い関係性を築いていきたい。

本日、私は自転車ですり公民館に来た。資料を見て、首里の昔のまちなみに思いを馳せ、本日の首里の様子も坂を自転車で上りながら拝見してきた。

首里城正殿の復興が進められているが、首里の本来の価値は、地域が大事にしてきたライフスタイルや文化にあると感じている。住まう方や子ども達がそれを次の世代に引き継いでいく。そのような、観光やまちづくりが進められるように全面的にサポートしていきたい。

議事 3. 部会の構成と令和5年度のテーマ活動(案)について

資料3：部会の構成と令和5年度のテーマ活動(案)について説明(事務局)

資料2：ロードマップ・ワークフローについて説明(事務局)

- 今回示している4つのテーマ活動を選定した経緯について補足説明する。
本協議会は次年度以降も継続して開催・協議していくものであり、その中で今年度協議会にて掘り下げていくテーマを3事務局で十分に議論し、納得の上4つに絞ることとなった。
テーマ活動は、テーマについて固めていくためにロードマップ事業を実施していく関係性となっている。また、内容については、様々な立場、目線(教育、福祉、交通、観光等)で自由に発言できるようなテーマを設定した。積極的な参加・支援をお願い申し上げます。(事務局)

- 資料2のワークフローにて、「大中町市街路整備」の位置づけに違和感がある。表の組み方は再検討が必要。当該事業は基本方針1「古都首里を感じられる空間の創出」においてとても重要な事業であるため、部会の中で力を入れて取り組んでいただきたい。
また、ニシカタ地区事業についての資料がなく取り組みが行われているか不明である。今後は、データの蓄積等も含めて取り組んでほしい。
ニシカタ地区テーマ活動については、県が主導する景観づくりの体制にもニシカタ地区が含まれているため、県も主体となって取り組む必要がある。(学識)
 - ワークフローについては、事務局案として作成している。意見を踏まえブラッシュアップする。ニシカタ地区の件についても、意見を踏まえ県のテーマ活動の取り組み方について検討する。(事務局)
- まちづくりに関する部会は2回では少ない。部会開始時に議論に移れるような資料・体制を整えるか、部会の回数を増やすべきと考える。(学識)
 - 部会2回では十分な評価が出来ないと考え、各部会から派生した2つのテーマ活動をそれぞれ2回行い、テーマについて掘り下げた議論を行いたいと考えている。(事務局)
- 部会とテーマ活動について、今後の取り組み体制としてよいスタートがきれたと感じている。市民参画でのまちづくり活動は面白くないと続かない。是非、自身が面白いと思うことを取り組んでほしい。(学識)
- 第2回協議会の中で、各事業の報告と併せて、現行の枠組みから「漏れ落ちること」と「はみ出すこと」についても報告すべきと考える。
「漏れ落ちること」とは現行の枠組みに当てはまらないこと。例えば、住民生活の福祉についての議論する場が明確ではないように、現行の枠組みに当てはめられない議論テーマのことである。また、「はみ出すこと」とは複数の項目にて、検討する必要がある内容である。
以上のような、「漏れ落ちること」「はみ出すこと」については、新たな枠組みを考えたほうがよい内容であり、それらを第2回協議会で報告し、次年度以降の体制を検討してはどうかと考えている。(学識)
- 「はみ出すこと」の例として、観光についての取り組みが該当すると考えている。地理的な周遊ルートの検討にとらわれすぎず、どのような観光をするかというそもそもの観点から、新しい首里の観光を考えてほしい。参考として、OTSが提案しているビーチクリーンの観光ツアーがある。このように地域課題解決する観光コンテンツも考えられる。
首里のよい歴史と併せ、地域の困りごとについても抽出し、課題解決型観光の資源発掘という方向でも議論ができれば、部会横断的な新しい観光の在り方も見つけられるだろうと考える。(学識)
- 龍潭の活用については、福祉、教育的な視点から、高齢者や車いす利用者、子ども達の利用を考慮した検討をするべきと考えているが、現在の龍潭の基本的管理運営や全体の利活用についての具体的な方針はどのように考えているか。(地域)
 - テーマ活動開始前に、県としての龍潭整備の方向性について説明する。龍潭の望ましい活用方法についてはテーマ活動にて意見を取りまとめる。(事務局)

■閉会あいさつ(那覇市 都市みらい部 副部長 花城)

参加者の皆様におきましては、これまでご尽力を頂きこの場をお借りして感謝申し上げます。

首里杜地区については、歴史・文化・観光拠点として、本市にとって重要な地域である。他方、取り巻く環境の変化とともに、オーバーツーリズムや交通問題など地域の日常生活にも影響が生じていることも理解している。本市としても、本協議会をとおして、地域の方々と価値観や課題

を共有しながら、景観形成地域の拡充や魅力ある地域づくりに向け、各施策に取り組んでいきたいと考えている。

今後も、関係機関をはじめ地域の方々との連携を図りながら、各種施策を進めていきたいと考えている。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上